

キーワードは「主体的」！ 研究だより



互見授業

グループF

発行者 徳永友也

鳥居先生 (かっこつけ + 意図した指名) = 考えの深まる授業



TRY 「生徒の考えが深まるような意見を持つ生徒の指名」

⇒ 生徒の考えを引き出してまとめていく展開

【授業の展開】

- ① まずは復習の練習問題から。
- ② 鳥居先生の意味あるかっこつけ・・・本時の導入「かっこをつけた式の計算のやり方」
- ③ 乗法の分配法則
- ④ 除法の分配法則
- ⑤ まとめ



既習事項を復習する流れの中から、本時の導入につなげるやりとり
+ 鳥居先生との何気ない会話の中から、本時の内容理解につなげるやりとり

20回以上

机間巡視の中で、生徒の進み具合や記述内容を入念に確認。きめ細やかです！



一人一人の生徒に丁寧に声をかける鳥居先生。そこで生まれる信頼関係は絶大！



～参観者の付箋より～

<GOOD>

- マスクをしてもよく聞こえる声・発声はいつもながら感心する。
- 先生の投げかけ（くだらないギャグ）に、生徒が反応している。
→ 反応を待つ間も含め、先生のことを生徒が理解している。先生が自分らしさを生徒にさらしているから！！…まだ乗り切れていない生徒もいるが。
- 乗法で分配法則に慣れてから除法へと移ることで、分配法則で計算していけばよい、という手順がわかる。
- 生徒のでき具合やできていない人への手立てが一人一人にされていてよかった。
- 前時の内容の確認がされていてよかった。
- 比較的易しい問題から難易度を上げていき、複数の問題を解かせていく中で自信をもたせている。
- 机間巡視を丁寧に行い、一人一人の状況をよく確認、把握している。
- 子どもからヒントを出してもらおう→出す側も出してもらおう側も理解が深まって良いと思いました。
- 「除法は分配法則を使える？」生徒に「？」が生まれ、深く考える発問だった。

<もっと>

- 数学の中で、計算の決まりをどう学ばせるのか。形だけでいいのか。なぜそうなのかは必要ないのか。
(例)「解答は最も小さい数、簡単な形で」というのと、割り算は分数のかけ算で、分配法則はかけ算だ。
- それぞれ既習事項がどうかもあるが、生徒の表情を見ていると、納得していない生徒も多かったように感じるが。
- 数学の楽しさは「できた」はもちろんあるが、「なるほど」「そういうことか」と数式や法則の意味等を理解できた時の方が大きい気がするが。
- 今日の授業で、つまずいている生徒をどうフォローするか。そのままでは、次からもついていけないと思うが。
- 意図して指名し、授業を進めることで深まったと教師は思うかも知れないが、「なぜ?」「どうして?」と疑問を持っていたり、つまずいている生徒をどうするか、どこまで見取っているか。
- (課題の)プリントを集めるタイミングが最後まで、始める前に集めた方が良かったと思った。
- 生徒に説明をさせても良いのかなと思った。前に出て書いてもらったものなど、途中式を書かせるのをしっかりとやったほうがよいと思った。
- 割り算は逆数の積に等しいというのが今日の中心かと思うが、そこはサラッと進んだが、そこに時間をかけなくても良いでしょうか？
- 乗法の計算で、マイナスとプラスを間違えている生徒がいた。他の生徒の考えを聞いて、直していたが、本当に理解できていただろうか。

鳥居先生の魅力を堪能させていただきました。

ありがとうございました。